

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	現代文
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合科学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「精選 現代文B」 大修館書店					
担当教員	豊田 圭子,白神 宏					
到達目標						
1. 論理的な文章を読み、構成・展開・論旨を客観的に理解し、要約することができる。自らの考えをまとめ、作文・発表などで適切に表現できる。 2. 文学作品を読み、主題や人物・心情・情景描写を理解し、その効果を説明することができる。自らの感想を作文・発表などで適切に表現できる。 3. 詩歌などの文学的文章の基礎を学び、表現を味わうことができる。自らも創作することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	論理的な文章の構成・論旨を理解し、要約できる。それに対し自らの意見を論理的にまとめ、発表できる。		論理的な文章を読み、構成・論旨を理解、要約できる。自らの考えをまとめることができる。		論理的な文章を読み、構成・論旨を理解、要約できない。自らの考えをまとめることができない。	
評価項目2	文学作品について、主題や人物描写を理解し、その効果を説明できる。それに対し自らの感想を発表できる。		文学作品について、主題や人物描写を理解し、その効果を説明できる。それに対し自らの感想をまとめることができる。		文学作品について、主題や人物描写を理解・説明することができない。それに対し自らの感想をまとめることができない。	
評価項目3	詩歌などの文学的文章を学び、表現を味わい、文学的な表現を用いて自らも創作することができる。		詩歌などの文学的文章を学び、表現を味わい創作できる。		詩歌などの文学的文章の基礎が理解できない。自ら創作することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程の教育目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 準学士課程の教育目標 E② 日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。 準学士課程の教育目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。						
教育方法等						
概要	国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、文章表現力を磨き言語活動の向上を図ることを目的とする。授業では近代以降の小説・評論・詩歌の学習を通して鑑賞力や想像力を育成し、主題を多角的にとらえる理解力、理論的に問題を考える思考力の向上を図る。語句・漢字学習を通して社会生活に必要な基本的な表現力・文章力を身につける。					
授業の進め方・方法	次回学習する単元については、語句の読みや意味を調べ把握しておくこと。また、疑問点や自らの意見を整理しておくこと。授業は応答を中心に進めるため、問いに対して主体的に応答すること。					
注意点	授業中に参考図書などを紹介するので、それをもとに自らの問題意識・関心を広げることがのぞまれる。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の進め方を把握する。		
		2週	随想：ミロのヴィーナス	文章中の難解な語句や慣用句の意味を調べ、理解する。		
		3週	随想：ミロのヴィーナス	随想を読み、文章の構成・展開を理解する。		
		4週	随想：ミロのヴィーナス	随想を読み、筆者の主張と根拠を正しく理解する。		
		5週	評論：人を指す言葉-自称詞・対称詞・他称詞	文章中の難解な語句や慣用句の意味を調べ、理解する。		
		6週	評論：人を指す言葉-自称詞・対称詞・他称詞	評論を読み、文章の構成・展開・論旨を理解する。		
		7週	評論：人を指す言葉-自称詞・対称詞・他称詞	評論の筆者の主張、根拠を理解する。評論を要約する。		
		8週	中間試験	1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	2ndQ	9週	試験内容解説	中間試験の内容を理解し、復習する。		
		10週	近代詩	近代詩を読み、詩の解釈について考える。詩の独特の表現を味わい、詩的表現の効果を説明できる。		
		11週	詩の鑑賞文	印象にのこった詩の鑑賞文を書く。		
		12週	小説：こころ	作品の時代背景と作者について学習する。難解な語句・慣用句を調べ、理解する。		
		13週	小説：こころ	小説を読み、構成と表現を理解し、人間心理のあり様について考えを深める。		
		14週	小説：こころ	登場人物の葛藤など心理描写に注目して、物語を理解する。 作品の観賞文を書く。		
		15週	期末試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
		16週	期末試験内容解説	期末試験の内容を理解し、復習する。		
後期	3rdQ	1週	評論：こころは見える？	難解な語句・慣用句の意味を調べ、理解する。		
		2週	評論：こころは見える？	文章の展開と筆者の主張を理解する。「こころ」「感情」について考える。		
		3週	評論：こころは見える？	既習の小説「こころ」と合わせて読み、評論の考えを応用して考察する。		
		4週	評論：こころは見える？	文章の展開・筆者の主張を踏まえ、要約する。		

		5週	小説：赤い蘭	難解な語句・慣用句の意味を調べ、理解する。 作者と時代背景について学習する。
		6週	小説：赤い蘭	小説の展開をまとめる。作品に関する資料などをもとに、作品の問題点を考察する。
		7週	小説：赤い蘭	作品の問題点や、資料などをもとに、小説の解釈を行う。
		8週	中間試験	1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	4thQ	9週	試験内容解説	中間試験の内容を理解し、復習する。
		10週	評論：猫は後悔するか	難解な語句・慣用句の意味を調べ、理解する。 展開・論旨を理解する。
		11週	評論：猫は後悔するか	評論の主題を読み取り、要約する。 自らの意見を論理的に作文で表現する。
		12週	現代の俳句	俳句の構成を理解し、鑑賞する。
		13週	現代の短歌・俳句	短歌の構成を理解し、鑑賞する。
		14週	創作活動(短歌・俳句)	短歌・俳句を創作・発表し、互いに批評する
		15週	期末試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
		16週	期末試験内容解説	期末試験の内容を理解し、復習する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	課題	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	70	20	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0